

## 令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立浜松特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜松特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	304人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	大型気化熱冷風機
使用学年及び人数	小学部1年生から高等部3年生まで 304人
使用頻度	6月から10月まで
使用状況	<p>気温や湿度が上昇して活動に支障をきたす日に、空調設備のない体育館にて使用した。</p> <p>体育の授業や部活動、1学期終業式と2学期始業式等の式典、集会等の時間に、幅広く活用した。</p> <p>今年度は熱中症指数が高く、屋外での活動ができない日が多かったため、屋内で活動することが多く、使用する機会も多かった。また、コロナ禍で児童生徒が集まる機会が減っていたが、今年度は久しぶりに各学部で全員がそろって終業式、始業式を行うなど、児童生徒が集まる機会が増えたため、使用頻度も高かった。</p>
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷風機と扇風機を組み合わせることで体育館内の空気を循環させ、広い場所でダイナミックな活動を行うことができた。</li> <li>・授業開始前や休憩時間などに、冷風機の前で涼む生徒も見られた。</li> <li>・体育の授業やトレーニング、部活動の時間に活用することで、体調を大きく崩すことなく生徒が活動に取り組むことができた。</li> <li>・学部、学年等の大集団で行う学習(出前講座、集会、学習の発表・報告会等)時に、体育館内での換気に役立った。</li> <li>・体温調節が難しい生徒の座席を冷風機近くに設定することで、体調管理をしながら学習に取り組む環境を整えることができた。</li> </ul>
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイルームは遊具を多く設置すると置き場所が限定されてしまうこと、体育館での活動が増え、1台では十分な冷風や換気ができないことから、今年度は2台とも体育館で使用した。</li> <li>・温暖化が進み、夏季に屋外で体を動かせる日が減ってきている。屋内の広い場所で、集団で授業を行うことは、生徒の体力向上や仲間づくりに必要であると考えている。今後も、気温上昇時に体育館を中心に使用したい。体育館の広さや人数を鑑みると、増設により更に学習環境が整うと考える。</li> </ul>
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体温調節が難しい生徒や暑さによりてんかん発作が誘発される生徒への個別の配慮としても活用していきたい。</li> <li>・体育の授業等では、水分補給と共に冷風機の風にあたり体温を下げる等、休憩時にも活用していきたい。</li> </ul>

## 2. 活用の様子



中学部 1～3年 保健体育  
「運動会に向けて  
応援合戦のダンス練習」



中学部1年  
「グランシップ子どもアート体験」  
貼り絵



高等部2年  
「職業実習報告会」